

大気中放射性物質濃度測定に係る試料採取の一時中断について

- 双葉町 陳場下交差点付近及び大熊町 東大和久交差点付近に設置中の大気中放射性物質濃度の測定に係る試料採取器具（ダストサンプラ）において、高温により器具の安全装置が作動し、それぞれ以下の期間、試料採取が一時中断しました。

＜双葉町 陳場下交差点付近＞

- ・平成 27 年 7 月 12 日（日）13 時 34 分から 7 月 13 日（月）16 時 46 分まで
- ・ 7 月 14 日（火） 9 時 10 分から 7 月 14 日（火）12 時 55 分まで

※7月13日（月）15時50分から16時46分までの間と、7月14日（火）9時10分から7月14日（火）12時55分までの間は、他の器具により補完的な測定を行いました。

＜大熊町 東大和久交差点付近＞

- ・平成 27 年 7 月 14 日（火）11 時 02 分から 7 月 14 日（火）13 時 26 分まで

- 今回の事案を踏まえ、器具が高温になることを防止する措置等、再発防止策を講じてまいります。

- 濃度の測定及び公表は、測定期間（7 月 8 日～7 月 15 日）における上記時間帯以外の時間帯において採取したサンプルを使用して行います（※）。

- ※ 今回の試料採取中断期間を含む期間分の測定値（7 月 8 日～7 月 15 日分）が本ウェブサイトに掲載される際には、試料採取が中断された事実とその期間を明記します。
また、測定値については、以下の方法で算定します。

＜本事案に係る測定値を得るための算定方法＞

通常、1 週間分の採取試料に含まれる放射性物質の総量（Bq：分子）を 1 週間分の吸引大気の総体積（cm³：分母）で割ることにより、当該 1 週間の平均大気中放射性物質濃度（Bq/cm³）を計算しています。

今回の事案により、試料採取が一時中断したため、分子、分母ともに通常よりも小さい数字になっていると考えられます。今回の測定値は、以下の通り、分子、分母ともに、測定で得られた値を用いて算定することとします。

【計算式の説明】

通常時の測定値	⇒	今回の測定値
$\frac{7 \text{ 日分の採取量[Bq]}}{7 \text{ 日分の吸引量[cm}^3\text{]}}$		$\frac{\text{今回の測定で得られた採取量[Bq]}}{\text{今回の測定で得られた吸引量[cm}^3\text{]}}$

【連絡先】

環境省 中間貯蔵施設担当参事官室
参事官補佐 亀井 雄 堀越 孝雄
TEL：03-5521-8349